

2025年度 シヤクヤク病害虫防除暦

JA 中野市営農センター

散布量 10a 当たり 3000

当防除暦の複製・コピーを禁止します。



散布日	露地作型						散布日	ハウス作型					
	回数	散布時期	散布薬剤	濃度	水 1000 当薬量	対象病害虫		回数	散布時期	散布薬剤	濃度	水 1000 当薬量	対象病害虫
／	①	4/上 萌芽期	展着剤 (ハイテンパワー) オーソサイド水和剤 80 オルトラン水和剤	10,000倍 600倍 1,500倍	10ml 166g 66g	立枯病 アブラムシ類	／	①	2/上 萌芽期	展着剤 (ハイテンパワー) オーソサイド水和剤 80 オルトラン水和剤	10,000倍 600倍 1,500倍	10ml 166g 66g	立枯病 アブラムシ類
／	②	4/下 出蕾期	展着剤 (ブレイクスルー) ゲッター水和剤	10,000倍 1,000倍	10ml 100g	灰色かび病	／	②	出蕾期 展葉期	ガードベイトA	3kg/10a 株元散布	-	ネキリムシ類
／	③	5/上 摘蕾後	展着剤 (ブレイクスルー) ポリオキシシ AL 水溶剤 コルト顆粒水和剤	10,000倍 2,500倍 4,000倍	10ml 40g 25g	灰色かび病 アブラムシ類	／	③	茎葉 繁茂期	展着剤 (ブレイクスルー) トレノックスフロアブル コルト顆粒水和剤	10,000倍 500倍 4,000倍	10ml 200ml 25g	灰色かび病、 アブラムシ類
／	④	5/中 収穫 3日前	展着剤 (ブレイクスルー) アクタラ顆粒水溶剤 フルピカフロアブル	10,000倍 2,000倍 2,000倍	10ml 50g 50ml	灰色かび病 (アブラムシ類)	／	④	摘蕾後	展着剤 (ブレイクスルー) ポリオキシシ AL 水溶剤	10,000倍 2,500倍	10ml 40g	灰色かび病
／	⑤	6/中 花芽 形成期	展着剤 (ハイテンパワー) ゲッター水和剤 オルトラン水和剤	10,000倍 1,000倍 1,000倍	10ml 100g 66g	灰色かび病 ヨトウムシ類、 アブラムシ類 アオムシ	／	⑤	5/下 花芽 形成期	展着剤 (ハイテンパワー) トレノックスフロアブル	10,000倍 500倍	10ml 200ml	灰色かび病 (褐斑病、炭そ病)
／	⑥	7/上	展着剤 (ハイテンパワー) モレスタン水和剤	10,000倍 2,000倍	10ml 50g	うどんこ病	／	⑥	6/中	展着剤 (ハイテンパワー) ゲッター水和剤 オルトラン水和剤	10,000倍 1,000倍 1,000倍	10ml 100g 66g	灰色かび病 アブラムシ類 ヨトウムシ類 アオムシ
／	⑦	7/下	展着剤 (ハイテンパワー) トレノックスフロアブル	10,000倍 500倍	10ml 200ml	灰色かび病、 炭そ病、 (褐斑病)	／	⑦	7/上	展着剤 (ハイテンパワー) モレスタン水和剤	10,000倍 2,000倍	10ml 50g	うどんこ病
／	⑧	8/下	展着剤 (ハイテンパワー) トップジンM水和剤	10,000倍 1,500倍	10ml 66g	(灰色かび病、 うどんこ病)	／	⑧	7/下	展着剤 (ハイテンパワー) トレノックスフロアブル	10,000倍 500倍	10ml 200ml	灰色かび病 炭そ病、 (褐斑病)
／	⑨	9/中	展着剤 (ハイテンパワー) モレスタン水和剤	10,000倍 2,000倍	10ml 50g	うどんこ病	／	⑨	8/下	展着剤 (ハイテンパワー) トップジンM水和剤	10,000倍 1,500倍	10ml 66g	(灰色かび病 うどんこ病)

◎混用例：展着剤 ⇒ 液剤 ⇒ 乳剤 ⇒ 顆粒水溶剤 ⇒ 水溶剤 ⇒ フロアブル ⇒ ドライフロアブル(DF) ⇒ 顆粒水和剤(WDG) ⇒ 水和剤

- ◎灰色かび病は低温、多湿で発生するので、ハウス内換気等総合的に防除する。また間引き作業によって風通しを良くする。
- ◆ 灰色かび病の防除にあたっては、同一薬剤の連用は避ける。治療効果を求める場合は、ゲッター、ポリオキシシ AL、ピクシオ のいずれかを選択する。
- ◆ 出蕾以降の灰色かび病発生時には、薬剤の汚れ軽減のためアフェットフロアブル 2,000 倍を代用して散布してもよい。
- ◎ 斑葉病 (茎の赤い斑点) は、通風、残渣処理、草丈 15 cm 時の防除 が重要。除草と定期防除を行う。
- ◎ うどんこ病発生初期にショウチノスケフロアブル 2,000 倍を特別散布する。11 月まで病害発生を防ぎ十分な養分蓄積を目指す。
- ◆ 収穫後は、ゲッター水和剤 1,000 倍を茎葉と地際部にも散布し灰色かび病と立枯病を予防する。
- ◆ 10a 当たり薬剤散布量は、萌芽期 1000、出蕾期 2000を目安とし、以降は 3000とする。
- ◆ 展着剤 果樹栽培者は、ブレイクスルー に代えて ササラ 3,000 倍 でもよい。

シヤクヤク (花き) 農薬適正基準

薬剤名	発生病害虫	希釈倍率	使用時期	使用方法	使用回数(以内)
オルトラン水和剤	アブラムシ類、(1,000倍アオムシ、ヨトウムシ類)	1,000~1,500倍	発生初期	散布	5回
トクチオン乳剤	アザミウマ類、ハダニ類	1,000倍	発生初期	散布	5回
アクタラ顆粒水溶剤	ミカンキイロアザミウマ 1,000倍、ハモグリハエ類	2,000倍	発生初期	散布	6回
コルト顆粒水和剤	アブラムシ類、コナジラミ類	4,000倍	発生初期	散布	4回
ゲッター水和剤	灰色かび病	1,000倍	-	散布	5回
トップジンM水和剤	菌核病、	1,500倍	-	散布	5回
ポリオキシシ AL 水溶剤	灰色かび病、うどんこ病、黒斑病、ハダニ類	2,500倍	発生初期	散布	8回
フルピカフロアブル	灰色かび病	2,000~3,000倍	発病初期	散布	5回
アフェットフロアブル	灰色かび病、うどんこ病	2,000倍	発病初期	散布	3回
トレノックスフロアブル	灰色かび病、炭そ病	500倍	発病初期	散布	6回
ピクシオ DF	取り寄せ 灰色かび病	2,000倍	発病初期	散布	4回
オーソサイド水和剤 80	立枯病、茎腐病	600倍	-	散布	8回
モレスタン水和剤	うどんこ病、(ハダニ類)	2,000~3,000倍	発病初期	散布	10回
トリフミン水和剤	うどんこ病、(炭そ病)	3,000倍	発病初期	散布	5回
ダコニール 1000	うどんこ病、斑点病	1,000倍	発病前(予防)	散布	6回
モンカットフロアブル 40 取り寄せ	白絹病	1,000~2,000倍	-	株元散布	3回
ユニフォーム粒剤	立枯病 (リゾクトニア菌)	18kg/10a	定植時または生育期時	土壌表面散布	3回
ガードベイト A	ネキリムシ類	3kg/10a	生育初期	株元散布	6回
ショウチノスケフロアブル	うどんこ病	2,000倍	発病前~発病初期	散布	2回

病害虫発生前の早期防除に取り組み、安全・安心な農産物生産しましょう。